

第18回坪内逍遙大賞の決定について

受賞者 白石 加代子（しらいし・かよこ）

<授賞理由>

白石加代子氏は、1967年早稲田小劇場（現・SCOT）に入団。鈴木忠志演出の「劇的なものをめぐってⅡ」「トロイアの女」などで、卓抜な演技力と圧倒的な存在感により高い評価を得、世界70都市を巡演した際には、世界的に著名な演出家のピーター・ブルック氏に「火を噴くドラゴン」と評され、国際的にも高い評価を得ています。

退団後も、舞台、映画、テレビドラマなどに数多く出演。舞台では、蜷川幸雄氏、野田秀樹氏、宮本亜門氏、鴨下信一氏など、名立たる演出家の作品に出演、シェイクスピア作品の舞台にも多く立られています。また、1992年からスタートし2014年に99話まで語り終えた「百物語」シリーズは、白石氏の代表作となっています。

また、テレビでは、NHK連続テレビ小説「ひよっこ」、NHK大河ドラマ「義経」「花燃ゆ」、2019年は「いだてん」に出演するなど、お茶の間でも人気を博し、ますますのご活躍が期待されているところです。

美濃加茂市は、2019年8月2日に行われました、坪内逍遙大賞選考委員会の満場一致の決議を受け、第18回坪内逍遙大賞を白石加代子氏に決定しました。



<プロフィール>

女優

1941年、東京都港区出身。子どものころから演劇の世界にあこがれていたが、弟が就職するまではという思いで、港区に就職、税務課に勤務。「兆の位までそろばんをいれていたのよ。」と語っている。弟の就職を見届けて、1967年、早稲田小劇場（現・SCOT）へ入団。鈴木忠志演出の「劇的なものをめぐってⅡ」「トロイアの女」などで、世界70都市を巡演、ピーター・ブルック氏（英・演出家）に「火を噴くドラゴン」と評される。

<退団後の主な舞台作品>

「メアリー・スチュアート」（宮本亜門演出）

「虎」（野田秀樹演出）

「百物語」シリーズ・「源氏物語」シリーズ（鴨下信一演出）

「夏の夜の夢」「身毒丸」「グリークス」「ペリクリーズ」「ムサン」（蜷川幸雄演出）

「国盗人」（野村萬斎演出）

「ビューティ・クイーン・オブ・リナーン」「常陸坊海尊」（長塚圭史演出）

「漂流劇 ひよっこりひょうたん島」（串田和美演出）

「エレクトラ」（鶴山仁演出）

＜最近のテレビ作品＞

NHK 連続テレビ小説 「ひよっこ」(2017 年)・「ひよっこ2」(2019 年)
NHK 大河ドラマ 「義経」(2005 年)・「花燃ゆ」(2015 年)
「いだてん～東京オリムピック噺」(2019 年)
日本テレビ 「すいか」(2003 年)・「Q10」(2010 年)・「ど根性ガエル」(2015 年)
などに出演

＜受賞歴＞

観世寿夫記念法政大学能楽賞(ギリシャ悲劇公演)/第 1 回読売演劇大賞優秀女優賞(『百物語』)
/第3回読売演劇大賞優秀女優賞(『身毒丸』)/芸術選奨文部科学大臣賞(『グリークス』『百物語』)
/スポニチ文化芸術大賞優秀賞(『百物語』)/紫綬褒章(春の叙勲)/松尾芸能賞/菊池寛賞/旭日
小綬章/